



2024年8月3日

株式会社 GT アソシエーション  
FIA-F4 事務局

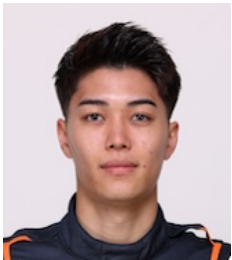
## FIA-F4 選手権 第5戦 決勝上位コメント

### ■ 第5戦 チャンピオンクラス優勝 洞地 遼大【#51 HFDP Racing Team】



「去年1年間プライベートチームで戦って、惜しいレースがいくつかあったものの結果を出すことができませんでした。2年目でやっと優勝することができて嬉しいです。初めてのポールポジションからのスタートということで緊張しましたが、いつも通りやれば大丈夫だと思っていました。その後、すぐに2位を引き離すことができたので、後は自分のペースで最後まで走り切ることができました。明日（第6戦）も同じくポールからのスタートなので、2連勝できるよう頑張ります」

### ■ 第5戦 チャンピオンクラス2位 森山 冬星【#62 HELM MOTORSPORTS F4】



「序盤が勝負どころだと思ってプッシュしましたが、レースペースはあまり良くなかったです。その状況で、富士で最後まで2位をキープできたのは良かったです。やはり1位が欲しかったです。悔しいです。この先は優勝がなければチャンピオン争いに残ることはできないので、次こそなんとかしたい。明日のレース（第6戦）まで時間はまだあるので、チームとしっかりミーティングをして改善点を見つけたいと思います」

### ■ 第5戦 チャンピオンクラス3位 野村 勇斗【#50 HFDP Racing Team】



「スタートはストールして遅れてしまいましたが、1コーナーでなんとか巻き返すことができました。そこから前を追いかかったのですが、ペースがそれほど良くなくて、守る一方のレース展開になったのは悔しいです。調子が悪かった昨日から予選に関しては改善できていましたが、レースペースはまた別。フィーリング自体はそれほど悪くないものの、ペースはなかったです。チャンスも何度かありましたが、そこも活かすことができませんでした。今日のデータをもとにセッティングを見直して、明日（第6戦）こそ3番手からスタートできるチャンスを生かせるようにしたいです」

■ 第5戦 インディペンデントクラス優勝 鳥羽 豊【#63 HELM MOTORSPORTS F4】



「(富士では) 久しぶりのレースだったので、まずはスタート順位の4位を守り切ることが目標でした。でも走り出してみたら混乱が生じて前に出ることができて、そこからはトップを狙って走りました。でも KENTARO 選手もめちゃくちゃ速くて、何度か仕掛けてみたものの全く抜くことができて、最後はヘアピンで合わせて B コーナー (ダンロップコーナー) で無理やり飛び込んで、なんとか抜くことができました。久しぶりに良いバトルができて、チェッカーまですごく楽しかったです。明日 (第6戦) も闘志を燃やして頑張ります」

■ 第5戦 インディペンデントクラス2位 KENTARO【#55 Baum Field F4】



「スタートをうまく決めることができて、その後もしばらくは調子良くトップを走っていたのですが、チャンピオンクラスの若手と抜きつ抜かれつのバトルをしている間に鳥羽選手がどんどん近づいてきて、必死に守ろうとしましたが最後は抜かれてしまいました。再逆転に向けそこからプッシュしましたが、レースペースは鳥羽選手の方が速く追いつけませんでした。明日 (第6戦) もポールスタートなので、今日の経験を活かして今度こそポール・トゥ・ウインを達成したいです」

■ 第5戦 インディペンデントクラス3位 植田 正幸【#11 Rn-sports MCS4】



「今年は KENTARO 選手はじめ、速いライバルが増えて“ヤバいな”と思っています。今日は朝の予選でスピンしてしまい6番手からのスタートでしたが、するすると3番手まで浮上できたのは良かったです。でもそこからは KENTARO 選手も鳥羽選手も速くて……。内心、2人でやらしかしてくれないかなと思っていたのですが (笑)、クリーンなバトルをしていたので無理でしたね。3位でラッキーだと思います。この今季初表彰台をきっかけに、チャンピオン争いの方も巻き返していきたいです」